

CentreCOM[®] 8208

バージョンアップ手順書

注意

CentreCOM 8208 のバージョンアップ方法には2種類あります。
TFTPサーバからファームウェアをダウンロードし、バージョンアップを行う方法と、Zmodem でダウンロードしバージョンアップを行う方法です。
弊社はTFTP での方法を推奨いたします。
ファームウェアのファイルサイズが約1.2MBの場合、Zmodem ではダウンロードのファイル転送時間に約25分を要するのに対し、TFTP では数分（ファイルサイズおよびTFTPサーバの性能により異なります）で行えます。Zmodem を使用した場合と比較して、より短時間で確実なバージョンアップが行えます。TFTPおよびZmodemのどちらでもバージョンアップ作業が可能なら、TFTPの方法をご採用ください。

目次

1. TFTP サーバを使用してバージョンアップを行う方法	
準備するもの	1
作業概略	1
準備手順	1
操作手順	1
最後に	2
2. Zmodem 手法を使用してバージョンアップを行う方法	
準備するもの	3
作業概略	3
準備手順	3
操作手順	3
最後に	4

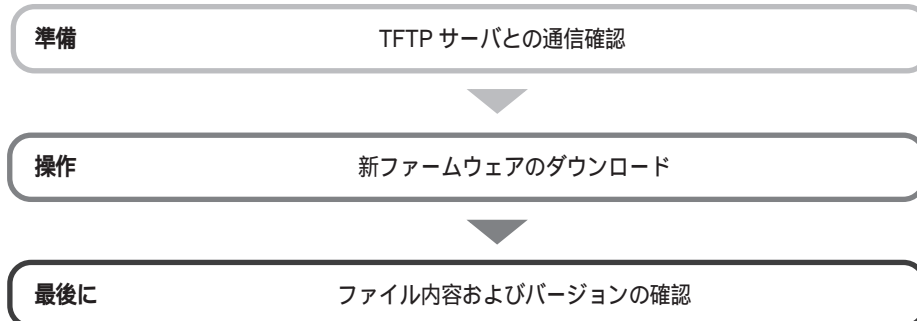
1. TFTP サーバを使用してバージョンアップを行う方法

準備するもの

- ・ TFTP サーバ・・・1
- ・ RS-232C クロスケーブル (装置側 : 9pin メス)・・・1本
- ・ コンソールターミナル・・・1^{*)}
- ・ カテゴリ-5 UTP ケーブル・・・1本

^{*)} Windows ベースで使用する場合は、1 台の PC で TFTP サーバとダム端末を共有させることができます。
例 : Windows 95 ベース、TFTP サーバ : 弊社 AT-TCP/32、ダム端末 : Windows 95 ハイパーターミナル

作業概略



準備手順

1. CentreCOM 8208 背面パネルの電源スイッチをオンにし、コンソールターミナルのターミナルソフトをターミナルモードにします。
2. 画面に「Login: 」と表示されたら、システム管理者モードでログインします。
3. TFTP サーバと CentreCOM 8208 の任意のポートとを接続します。
4. TFTP デーモンを起動します。
たとえば、弊社の PC/TCP を MS-DOS 環境でご使用の方は、「tftp serve」と入力します。これで TFTP デーモンを起動することができます。
5. CentreCOM 8208 と TFTP サーバが通信できるかを確認します。
確認方法
1. 入力待ち状態で ping、スペース、TFTP サーバの IP アドレスの順に入力します。
2. 画面に「***.***.***.*** is alive」と表示されたら通信可能状態ですので次に進んでください。
「no answer from....」と表示されたら通信できない状態ですので、通信可能な状態になるよう調整を行ってください。

操作手順

1. TFTP サーバの IP アドレスを設定します。
TFTP サーバの IP アドレスを設定するコマンド「tftpcfg」を入力します。

```
/ >tftpcfg
```

```
IP address of the tftp server ( ) :
```

2. TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

```
IP address of the tftp server ( ) : 192.168.100.202
```

3. 次に、この IP アドレスの設定内容を保存するかどうかを入力します。
この例では保存しないように設定します。

```
Save the configuration to flash? (y/n) n
```

ここで一度しか使用しないため、特に設定を保存する必要はありません。

4. ファームウェアを TFTP サーバからダウンロードします。
ファームウェアをダウンロードするコマンド「dldfrm」と入力します。

```
/ >dldfrm
```

5. **ダウンロードする、TFTP サーバ内のファームウェアファイルのファイル名を入力します。**
ファイル名は、Full Pathで入力します（以下の例では、このTFTP サーバ内のファームウェアファイルはCドライブのtmpディレクトリにあり、ファイル名が「firmware」と仮定します）。
さらに、ファイル名等が正しいかを確認するよう求めます。

```
Name of file on tftp server ( ) : c:¥tmp¥firmware [OK]

File "c:¥tmp¥firmware" on server (192.168.100.202) is to be copied
to switch as "/flash/firmware"

Are they correct? (y/n) y [OK]
LF = /flash/firmware, RF = c:¥tmp¥firmware, SRV = 192.168.100.202, op = get
```

6. **次に、確認のメッセージが表示されますので、「n」を入力し、ダウンロードを開始します。**

```
Save the configuration to flash? (y/n) n [OK]
```

7. **数分後、ダウンロードが正常終了すると、プロンプト "/>" が表示されます。**

ファイル名をリスト表示するコマンド「ls」を入力し、「FIRMWARE」ファイルがあるか、またファイルサイズが新ファームウェアのファイルサイズと同じか確認します（新ファームウェアファイルのファイルサイズは、別途お問い合わせください）。

```
/ >ls [OK]
```

size	date	time	name
1505428	JAN-16-1998	00:24:14	FIRMWARE
0	JAN-16-1998	00:24:34	SYSDUMP
73	JAN-16-1998	00:24:38	AGENT.CNF
2137	JAN-26-1998	06:34:14	ERRLOG.CUR
66240	JAN-26-1998	06:43:08	SYSTEM.CUR
1716	JAN-26-1998	06:44:32	VENDOR.DAT

「FIRMWARE」の有無およびファイルサイズを確認します。

8. **CentreCOM 8208 を再起動します。**

再起動は、下記のいずれかの方法で行ってください。

- ・"reset" または、"reboot" コマンドの実行
- ・全面パネルのReset ボタンを押す
- ・背面の電源スイッチのオフ/オン

最後に

1. **バージョンアップがきちんとできたかを確認するために、念のため、バージョン番号を確認します。**

操作方法

1. 「Login: 」と表示されたら、システム管理者モードまたはユーザモードでログインします。
2. コマンド入力待ち状態で、「vsys」と入力します。
3. CentreCOM 8208 に関する情報が表示されます。その中の「FW version」と表示された行の右の数字が現在のバージョンです。

[ご注意]

本装置に新規ファームウェアのダウンロードを行っている際に、コンソール端末画面上に以下の表示が現れた場合は、ダウンロードが正常に行えておりません。

```
TFTP:: S_errno_ENETUNREACH
..TFTP file operation failed.
```

このままリセットすると起動できなくなる恐れがありますので、本装置のリセットおよび電源オフは絶対に行わないでください。以下の各項目を確認後、本手順書に基づき再度ダウンロードを実行してください。

- ・本装置の IP パラメータ
- ・TFTP サーバの IP パラメータ
- ・TFTP サーバの起動状態
- ・本装置と TFTP サーバの物理的接続状態(LINK UP していること)
- ・ダウンロードするファームウェアのファイル名

以上で、TFTP サーバからのファームウェアのバージョンアップに関する全作業が終わりです。

2. Zmodem 手法を使用してバージョンアップを行う方法

準備するもの

・ コンソールターミナル・・・1

・ RS-232C クロスケーブル (装置側 : 9pin メス)・・・1本

作業概略



準備手順

1. CentreCOM 8208 背面パネルの電源スイッチをオンにし、コンソールターミナルをターミナルモードにします。
2. ご使用のターミナルソフトの設定内容を確認します。
各ソフトの設定画面で以下の内容に設定されているかを確認します。
端末速度 : 9600bps、キャラクタ長 : 8ビット、ストップビット : 1ビット、パリティ : なし、フロー制御 : Xon/Xoff (ソフトフロー)
ポート名 : CentreCOM 8208 を接続しているポート

Windows 95 ハイパーターミナルをご使用の方は、ハイパーターミナルの設定内容は以下のとおりです。
接続方法 : Com xへダイレクト (xには、CentreCOM 8208 が接続している RS-232C ポートのポート名が入ります)
ビット : 9600、データビット : 8、パリティ : なし、ストップビット : 1、フロー制御 : Xon/Xoff

3. 画面に「Login: 」と表示されたら、システム管理者モードでログインします。

操作手順

1. コンソールターミナルから CentreCOM 8208 へ新ファームウェアを転送します。
ファイルを受信するコマンド「load」を入力します。

```
/ >load  
  
Download system software using ZMODEM,  
Entry 'y' to continue or 'q' to quit (y):y
```

2. ご使用のターミナルソフトのファイル送信機能を使用し、ファイル転送を実行します。

Windows 95 ハイパーターミナルの場合は、メニューバーの「転送」「ファイルの送信」を選択します。ファイル送信ダイアログボックスが表示されます。「ファイル名」には新ファームウェアファイル名を Full Path で指定します。「プロトコル」には「Zmodem」を指定します。[送信]ボタンをクリックし、ファイル転送を開始します。

ここで次の手順までに 50 秒経過すると、本体側でタイムアウトしてしまいます。
タイムアウト時には、本手順 1 から再度行ってください。

3. ファイル転送が終了したら、数回リターンキーを押します。以下のいずれかを行います。

- コマンド入力待ち状態のプロンプトが表示されたら「exit」と入力し、「Login:」の表示に従って、システム管理者モードでログインします。
- 「Login:」と表示されたら、システム管理者モードでログインします。

4. ファームウェアがきちんと転送できたか確認します。

ファイル名をリスト表示するコマンド「ls」を入力し、「FIRMWARE」ファイルがあるか、またファイルサイズが新ファームウェアのファイルサイズと同じか確認します（新ファームウェアファイルのファイルサイズは、別途お問い合わせください）。

```
/ >ls
```

size	date	time	name
1505428	JAN-16-1998	00:24:14	FIRMWARE
0	JAN-16-1998	00:24:34	SYSDUMP
73	JAN-16-1998	00:24:38	AGENT.CNF
2137	JAN-26-1998	06:34:14	ERRLOG.CUR
66240	JAN-26-1998	06:43:08	SYSTEM.CUR
1716	JAN-26-1998	06:44:32	VENDOR.DAT

「FIRMWARE」の有無およびファイルサイズを確認します。

5. CentreCOM 8208 を再起動します。

再起動は、下記のいずれかの方法で行ってください。

- ・"reset" または、"reboot" コマンドの実行
- ・全面パネルの Reset ボタンを押す
- ・背面の電源スイッチのオフ/オン

最後に

1. バージョンアップがきちんとできたかを確認するために、念のため、バージョン番号を確認します。

操作方法

1. 「Login: 」と表示されたら、システム管理者モードまたはユーザモードでログインします。
2. コマンド入力待ち状態で、「vsys」と入力します。
3. CentreCOM 8208 に関する情報が表示されます。その中の「FW version」と表示された行の右の数字が現在のバージョンです。

以上で、Zmodem を使用したファームウェアのバージョンアップに関する全作業が終わりです。